



TOMORROW | Taiza Studio

2854 Taiza Tangocho Kyotango Kyoto 6270201  
tomorrowfield.org

2023年9月27日

PRESS RELEASE

# ECHOあしたの畑 — 丹後・城崎

2023年10月7日[土]—11月26日[日]



畠山直哉「立岩」

## *Taiza, Tango 2023*

池澤 夏樹／畠山 直哉

会場 | 卍 | SEI

今秋開催される「ECHO あしたの畑—丹後・城崎」では、アート、工芸、建築の次世代の才能と丹後土地が持つ固有性が混じり合う、アートプロジェクトを公開します。

2023年、畠山直哉による作品『立岩』がきっかけとなり、池澤夏樹は畠山と京丹後を旅し、訪れた地から着想を得て十篇からなる組詩を書き下ろしました。今回が初公開となる、『立岩』のオリジナルプリントとともに同作の冒頭部分が公開され、間人・丹後の風景が、京都の町屋の空間に現れます。幾重にも重なる海の変容、自然の営み、彼の地にたどり着いた人の心を文学と写真で奏でる試みです。

## ABOUT

「ECHO あしたの畑－丹後・城崎」会期中、京都市内の会場として、世 | SEI を特別公開します。

同プログラムは、外観は京都の街並みに溶け込み、家に入ると「宝物」のように感じる家というコンセプトのもと、建築家・西沢立衛が京町家の伝統に向き合い、職人たちと作り上げた空間に、池澤夏樹による組誌と畠山直哉による写真作品からなる空間構成を行う試みです。

畠山による特装版記録集に加え、「あしたの畑」に参画するクリエイターによる作品、日々の暮らしの中で京丹後の恵みをお楽しみいただける品々を展示、販売します。

ローカルな知性と固有の資源と技、知識と意識の交感が生み出した空間が伝える、普遍的な心性をこの機会にぜひ、ご堪能ください。

## EVENTS

### あしたの台所

日時：10月22日 [日] 9:00－14:00

会場：丹後地域公民館（京丹後市丹後町間人 1780）

対象：小学3年生から6年生

定員：18名

参加費：2,400円 \*昼食とお土産付き

申込先：<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/025step0nqn431.html>

天橋立で知られる宮津市出身であり、新鮮な食材とスパイスを巧みに組み合わせた料理を手がける「ブランカ」のシェフ・吉岡哲生による料理ワークショップ。「目にも口にも“美味しい”食事はどのように作られるか？」を子どもたちと考え、共に食の喜びを体験する企画。

### あしたの工房

日時：11月11日 [土] 13:00－16:00

会場：間人スタジオ（京丹後市丹後町間人 2854）

対象：中学生以上

定員：8名

参加費：3,000円

申込先：<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/029hparcsn431.html>

ドンペリニヨン公式シャンパンクーラーを制作し、代表作がヴィクトリア& アルバート博物館、パリ装飾美術館の永久所蔵となっている木工作家・中川周士によるワークショップ。日々の食卓と暮らしの側にある箸や匙、木皿や木桶について、出来上がる過程と学びながら作る工房体験。



「世 | SEI」外観(上)、内観(下)



中川周士「朧月」

## OVERVIEW

名称	ECHO あしたの畑－丹後・城崎
会期	2023年10月7日（土）－11月26日（日）
会場	間人スタジオ、竹野・斎宮神社、丹後古代の里資料館、道の駅てんきてんき丹後、 城崎温泉三木屋、世   SEI
主催	NPO 法人 TOMORROW、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
共催（丹後古代の里資料館）	京丹後市教育委員会
後援	海の京都 DMO、京丹後市、京丹後市教育委員会、京都府、公益社団法人京都府観光連盟
委託	令和5年度日本博2.0事業（委託型）

## THEME

食とアートの祭典「ECHO あしたの畑－丹後・城崎」の2023年のテーマは3つ。  
かつて丹（辰砂）を生み出してきた地域である丹後の歴史に着目したアート作品、  
豊かな食材と丹後ちりめんを主とする産業を革新する試み、  
そして、次世代と共同で取り組む土地に根ざす新たなアートの提案です。

## CREATORS

AAWAA (COSMIC WONDER)   アート・衣	新里 明士   陶磁器
安東 陽子   テキスタイル	西沢 立衛   建築
池澤 夏樹   文学	畠山 直哉   写真
嘉戸 浩 (かみ添)   唐紙	幅 允孝 (BACH)   本
桑田 卓郎   陶器	テレジータ・フェルナンデス   アート
坂本 健 (cenci)   食	森川 昇   記録・写真
佐藤 聡 (PONTE)   ガラス	LEO   アート・箏
下田 理恵   記録・デザイン	サムソン・ヤン   アート
須田 悦弘   彫刻	吉岡 哲生 (ブランカ)   食
田中 義久   アート・デザイン	吉岡 幸宣 (縄屋)   食
中川 周士 (中川木工芸)   木工	

※五十音順

## PROGRAMS

### *Field of Stars*

アーティスト、テレジータ・フェルナンデスと木工職人である中川周士が、次世代を担う建築チーム-TOMORROW の橋詰隼弥、若松晃平、そして芸術大学在学中のサイプレス・フェルナンデス=ダウズとのアート・工芸・建築をつなぐ協働プロジェクト。

### *A Little Prayer*

芸術の根源について思考を重ね、行き着いた結論であった「祈り」。丹後には古墳が 5,000 基あるといわれる。これからの生活や墓地について思考し自然の中で芸術の意味を問い、「祈り」と結びつくことを願う、アート・工芸・建築からの視点を散策しながら体感する作品群。

### 紙の本

竹野神社に代々伝わる書籍と現代の図書を幅氏が選書、構成した期間限定の図書スペース。図書が置かれる本棚は、竹野神社に眠っていた古材を組み合わせて作られ、歴史のみならず、料理、宗教、建築、文化など様々な入り口から丹後について、丹後と世界とのつながりについて、学ぶことができる。

### 丹

AAWAA が丹後古代の里資料館の企画展示室内にて、かつてこの地で生き、丹波国を築いた人の眠りの痕跡を見つめ、古代と現代をつなげる試み。資料館の所蔵品と、丹後・三坂神社墳墓群から出土した朱の土一辰砂から触発された衣を制作、展示する。

### 古代とあしたの レストラン

国内外で活躍する料理人・坂本健と吉岡幸宣が、地域の食材を活用し、身体にも美味しく地元の新たなソウルフードとなるようなレシピを監修し、会期中に提供。

テキスタイルデザイナー・安東陽子は道の駅の南室を TOMORROW の次世代建築チームと共に開発する建材としての丹後織物を用い、食べる楽しさを増幅させる空間を提案する。

### 自然の部屋

職人の技を駆使しながら、自然素材で作るこれからの資源を考える試みを通して、次世代の感性に響く生活空間。新しく生み出すデザインやかたち、スタイルの模範となる場を提供し、やがて地域のスタンダードとして普及する地域モデルとなるべく、生活空間における光と水との新しい共存のあり方を提案する。

### 建築と場所の歴史と 対話する陶芸と彫刻

志賀直哉が宿泊した客室では現代美術家・須田悦弘が志賀の著書「朝顔」から着想を得た彫刻を、陶磁器作家・新里明士は、改修を終えた新しい客室のために制作した新作を発表。須田と新里による彫刻と陶芸の美の空間。



# ECHO

あしたの畑 — 丹後・城崎

## 取材申込書

申込者	団体名		担当者名	
	住所			
	TEL		E-mail	
取材希望日	第一希望	月	日 ( )	
	第二希望	月	日 ( )	
媒体	種別	テレビ フリーペーパー	ラジオ WEB	新聞 雑誌 その他 ( )
	媒体名			
発行/放映日	年	月	日 ( )	時 分 ~ 時 分
取材内容	動画撮影	写真撮影	インタビュー	その他 ( )
備考	(特殊な機材の持ち込み、お客様が映る可能性、無人の状態での撮影など)			

### 注意事項

- ・企画書など掲載媒体・取材内容がわかる書類の提出をお願いいたします。
- ・掲載、放映、放送等にあたっては、指定クレジットを明記してください。
- ・撮影写真、映像、広報写真等は、目的外の使用はお控えください。

### お問い合わせ・お申し込み先

ECHO事務局 TOMORROW (担当：岡本)

E-mail: info@tomorrow-jp.org



WEB  
<https://echo-tomorrowfield.com>



JAPAN CULTURAL EXPO 20

